

令和 7 年度事業計画

びわ湖放送 株式会社

1 基本方針

当社は、情報化社会を迎える中で、滋賀県の文化水準や県民福祉の向上に寄与することを目的に、自治体やテレビ局・新聞社、交通・金融機関等企業の出資により、昭和46年に会社設立、翌47年4月に開局した。

開局以来、県内唯一の地上波民間テレビ局として地域情報を発信してきた経験と実績を強みに、放送局としての高い信頼性に裏付けされた滋賀の情報や魅力的で高品質なコンテンツを発信し続けてきた。

放送を取り巻く環境が変化する中にあっても、地域NO. 1の総合メディアとして、コンテンツのWeb配信など放送に留まらない多様なメディアを活用しながら地域情報の発信を強化し、地方創生や県民の安全安心な社会づくりに貢献する。

2 事業計画

(1) 放送コンテンツの制作と放送

県内唯一の地上波民間テレビ局として、新規スポンサーの獲得と既存スポンサーの取引拡大を図りながら、特別番組の制作や県民の安全安心情報の発信を強化していく。特に、滋賀県で開催される第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会（以下、国スポ・障スポという。）の成功に向けて、大会に関する情報発信や、スポーツの魅力や県民の健康づくりを推進する番組作り等を精力的に行っていく。また、県民の関心が高い大阪・関西万博関連の情報についても積極的に発信していく。

併せて、前年度にIP化による設備更新を完了した基幹放送設備のマスター（主調整室）を活用し、サブチャンネル（第2チャンネル）での地域情報番組等の放送にも本格的に取り組んでいく。

(2) IT（情報技術）を活用したデジタルコンテンツ関連事業

マスター（主調整室）と同様に、前年度IP化による設備更新を完了したサブ（副調整室）を活用し、中継車を使わないスポーツ中継の実施など新たな番組制作にも挑戦していくとともに、コンテンツのWeb配信やSNSへの情報発信を拡充し、放送外事業としての収益化にも積極的に取り組んでいく。

さらに、アーカイブの整理・活用などのデジタルコンテンツ関連事業についても引き続き推進していく。

(3) 地域の元気を創造する放送外事業

優れた音楽や舞台に触れるコンサート事業や県民・企業などと共に地域を盛り上げるイベント・スポーツ事業等を展開し、地域の活性化に貢献するとともに安定経営に向けた収益にもつなげていく。

(4) 中長期を見据えた経営計画の着実な推進

中期経営計画2026（計画期間2024～2026年）の中間年として、計画の着実な推進と年度目標の達成に向けて各種事業に鋭意取り組んでいく。

収 支 見 込

自 令和 7 年 4 月 1 日

至 令和 8 年 3 月 31 日

(単位 千円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較	備 考
1 売 上 高				
放 送 事 業 収 入	1,230,000	1,200,000	30,000	
そ の 他 事 業 収 入	410,000	330,000	80,000	
売 上 高 計 (A)	1,640,000	1,530,000	110,000	
2 売 上 原 価				
放 送 費	990,000	911,000	79,000	
技 術 費	50,000	50,000	—	
減 価 償 却 費	369,000	172,000	197,000	
売 上 原 価 計 (B)	1,409,000	1,133,000	276,000	
売 上 総 利 益 (C)=(A)-(B)	231,000	397,000	△ 166,000	
3 販売費および一般管理費				
販 売 費	373,000	347,000	26,000	
一 般 管 理 費	183,000	172,000	11,000	
減 価 償 却 費	8,000	6,000	2,000	
販売費および一般管理費計 (D)	564,000	525,000	39,000	
4 営 業 利 益 (E)=(C)-(D)	△ 333,000	△ 128,000	△ 205,000	
5 営 業 外 収 益				
受 取 利 息 ・ 配 当 金	1,000	1,000	—	
雑 収 入	14,000	14,000	—	
営 業 外 収 益 計 (F)	15,000	15,000	—	
6 営 業 外 費 用				
支 払 利 息	10,000	8,000	2,000	
営 業 外 費 用 計 (G)	10,000	8,000	2,000	
7 経 常 利 益 (H)=(E)+(F)-(G)	△ 328,000	△ 121,000	△ 207,000	
8 税 引 前 当 期 純 利 益 (I)	△ 328,000	△ 121,000	△ 207,000	
9 法 人 税 等 (J)	5,000	5,000	—	
10 当 期 純 利 益 (K)=(I)-(J)	△ 333,000	△ 126,000	△ 207,000	

令和 6 年度 事業報告

びわ湖放送 株式会社

1 事業概要

中期経営計画 2026（計画期間 2024～2026 年）の初年度として、放送による地域情報の発信に努めたほか、インターネットによる情報発信が伸長する中であって、引き続き Web へのニュース・番組配信や SNS を活用した情報発信を推進した。

特に令和 6 年度は、特別番組の制作・放送にも積極的に関わり、県外への発信を含めて視聴者からも高い評価を受け、営業的にも成果を上げることができた。

さらに、当社経営の重要課題となっていた基幹放送設備の更新については、放送局の心臓部ともいえる主要施設のマスター（主調整室）とサブ（副調整室）、スタジオ設備等の整備を完了することができた。

2 事業実績

(1) 放送コンテンツの制作と放送

ア 番組の自社制作比率を 4 月期の 10.1% から年間を通して 10% 以上を維持した。

イ 地域に密着した報道番組や地域情報番組の放送

(ア) ニュース滋賀いろ	毎週月曜日から金曜日放送
(イ) 6 時だよ！知ったかぶりかいつぶりニュース	毎週月曜日から木曜日放送
(ウ) 金曜オモロしが	毎週金曜日放送
(エ) 滋賀経済 NOW	毎週土曜日放送（日曜日再放送）
(オ) 琵琶湖まんだら	毎月第 3 土曜日放送
(カ) 湖国びより	毎月最終土曜日放送
(キ) しまち 19	年間 2 回放送 他

ウ 大雨等災害情報の放送や、選挙情報など地域に必要な情報の放送

(ア) L 字画面等による大雨等災害情報	12 回放送
(イ) 選挙関連番組	9 回放送
(ウ) 字幕による気象警報等ニュース速報	507 回放送

エ 特別番組の放送

- (ア) 長い伝統を誇る「長浜ひょうたんボウル」を令和 6 年 5 月に生中継で放送。
- (イ) 県内各市町を巡る街ぶらバラエティー「宮川大輔のそれ知りたいヤツや〜ん」を年間 5 回放送。
- (ウ) 湖西線 50 周年スペシャル「沿線の風景とともに」を令和 6 年 8 月に放送。
- (エ) ウィリアム・メレル・ヴォーリズ 来日 120 年記念「米来留（メレル）日本を愛したニッポンジン」を令和 7 年 1 月に放送。

(2) SDGs・MLGs の推進など社会課題に対する事業

ア マスコットキャラクターの「野洲のおっさん」が県民と共に活動するびわ湖一周ごみ拾い行脚を実施した。

イ 放送や各種事業を通じて県内の企業や団体の SDGs の取組を応援するプロジェクトを展開した。
(12 社 684 回放送)

ウ 国スポ・障スポを盛り上げるため、前年度に続きエフエム滋賀と連携し、国スポ・障スポの開催に向けたカウントダウンCMを放送（1,544回）するとともに、未来に向かって取り組む選手たちを紹介する「輝け！湖国のアスリート」を令和6年10月から毎週水曜日に放送した。

(3) ITを活用したデジタルコンテンツ関連事業

ア LINEの公式チャンネルを開設し、番組や地域情報の発信を拡充するとともに、地域のお店やサービスを応援する「びわ湖でおトククーポン」のサイトを立ち上げた。

イ 自社制作番組のYouTube配信を推進するとともに、ショート動画の制作（82本・84,374回再生）でアクセス数の増加を図った。

ウ 自社制作番組の二次利用の一環として、特別番組「米来留（メレル）日本を愛したニッポンジン」を初めてTVerで配信した。

(4) その他

滋賀県と中国湖南省との縁をきっかけに、中国湖南広播電視台のグループ会社「湖南広播国際チャンネル」と共同協力提携に関する覚書を交わして連携事業を開始した。

損 益 計 算 書

自 令和 6 年 4 月 1 日

至 令和 7 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
1 売 上 高			
放 送 事 業 収 入	1, 175, 289, 488	1, 168, 917, 889	6, 371, 599
そ の 他 事 業 収 入	359, 990, 622	332, 595, 424	27, 395, 198
売 上 高 計 (A)	1, 535, 280, 110	1, 501, 513, 313	33, 766, 797
2 売 上 原 価			
放 送 費	964, 333, 816	914, 676, 968	49, 656, 848
技 術 費	47, 116, 089	37, 862, 986	9, 253, 103
減 価 償 却 費	120, 240, 857	36, 927, 025	83, 313, 832
売 上 原 価 計 (B)	1, 131, 690, 762	989, 466, 979	142, 223, 783
売 上 総 利 益 (C)=(A)-(B)	403, 589, 348	512, 046, 334	△ 108, 456, 986
3 販売費および一般管理費			
販 売 費	358, 731, 515	343, 334, 185	15, 397, 330
一 般 管 理 費	163, 468, 489	179, 002, 188	△ 15, 533, 699
減 価 償 却 費	8, 218, 143	6, 030, 244	2, 187, 899
販売費および一般管理費計 (D)	530, 418, 147	528, 366, 617	2, 051, 530
4 営 業 利 益 (E)=(C)-(D)	△ 126, 828, 799	△ 16, 320, 283	△ 110, 508, 516
5 営 業 外 収 益			
受 取 利 息 ・ 配 当 金	1, 122, 093	926, 143	195, 950
雑 収 入	20, 776, 334	17, 883, 833	2, 892, 501
営 業 外 収 益 計 (F)	21, 898, 427	18, 809, 976	3, 088, 451
6 営 業 外 費 用			
支 払 利 息	1, 745, 835	991, 137	754, 698
営 業 外 費 用 計 (G)	1, 745, 835	991, 137	754, 698
7 経 常 利 益 (H)=(E)+(F)-(G)	△ 106, 676, 207	1, 498, 556	△ 108, 174, 763
8 特 別 利 益			
そ の 他 特 別 利 益	—	30, 000, 000	△ 30, 000, 000
特 別 利 益 計 (I)	—	30, 000, 000	△ 30, 000, 000
9 特 別 損 失			
固 定 資 産 除 却 損	1, 945, 339	379, 893	1, 565, 446
特 別 損 失 計 (J)	1, 945, 339	379, 893	1, 565, 446
10 税 引 前 当 期 純 利 益 (K)=(H)+(I)-(J)	△ 108, 621, 546	31, 118, 663	△ 139, 740, 209

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
11 法 人 税 等 (L)	4,789,400	4,789,400	—
12 当 期 純 利 益 (M)=(K)-(L)	△ 113,410,946	26,329,263	△ 139,740,209

貸 借 対 照 表

令和 7 年 3 月 31 日現在

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
I 資 産 の 部			
1 流動資産			
現金および預金	226,629,723	689,159,183	△ 462,529,460
当 座 預 金	565,379,468	479,113,985	86,265,483
売 掛 金	331,762,546	317,023,905	14,738,641
貯 蔵 品	875,615	1,113,357	△ 237,742
その他の流動資産	96,478,085	4,418,668	92,059,417
貸 倒 引 当 金	△ 3,000,000	△ 3,000,000	—
流 動 資 産 合 計	1,218,125,437	1,487,829,098	△ 269,703,661
2 固定資産			
(1)有形固定資産			
建 物	134,749,557	109,410,936	25,338,621
構 築 物	19,146,512	20,545,883	△ 1,399,371
機 械 装 置	980,888,811	358,455,187	622,433,624
車 輜 運 搬 具	4	4	—
工 具 器 具 備 品	15,497,526	5,660,069	9,837,457
土 地	321,421,295	321,421,295	—
有 形 固 定 資 産 合 計	1,471,703,705	815,493,374	656,210,331
(2)無形固定資産			
電 話 加 入 権	1,497,924	1,497,924	—
ソ フ ト ウ ェ ア	16,086,942	4,560,875	11,526,067
無 形 固 定 資 産 合 計	17,584,866	6,058,799	11,526,067
(3)投資その他資産			
保 証 金	5,871,384	6,151,384	△ 280,000
出 資 金	45,060,000	45,060,000	—
会 員 権	6,600,000	6,600,000	—
長 期 前 払 費 用	4,512,420	286,180	4,226,240
投 資 そ の 他 資 産 合 計	62,043,804	58,097,564	3,946,240
固 定 資 産 合 計	1,551,332,375	879,649,737	671,682,638
資 産 合 計	2,769,457,812	2,367,478,835	401,978,977
II 負 債 の 部			
1 流動負債			
未 払 金	330,280,563	188,075,652	142,204,911
前 受 金	—	280,500	△ 280,500
短 期 借 入 金	13,498,000	16,000,000	△ 2,502,000
預 り 金	8,995,366	9,563,887	△ 568,521
賞 与 引 当 金	13,000,000	24,000,000	△ 11,000,000
未 払 法 人 税 等	4,789,400	4,789,400	—
未 払 消 費 税 等	—	5,784,100	△ 5,784,100
流 動 負 債 合 計	370,563,329	248,493,539	122,069,790
2 固定負債			
長 期 借 入 金	515,627,000	129,505,000	386,122,000
預 り 保 証 金	1,880,000	1,880,000	—
退職給付引当金	157,994,336	150,796,203	7,198,133
固 定 負 債 合 計	675,501,336	282,181,203	393,320,133
負 債 合 計	1,046,064,665	530,674,742	515,389,923
III 純資産の部			
1 株主資本			

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
(1)資 本 金 資 本 金 合 計	94,000,000	94,000,000	—
(2)資本剰余金 資 本 準 備 金	1,141,656,000	1,141,656,000	—
資 本 剰 余 金 合 計	1,141,656,000	1,141,656,000	—
(3)利益剰余金 利 益 準 備 金	760,219	760,219	—
その他の利益剰余金			
別 途 積 立 金	520,000,000	520,000,000	—
繰越利益剰余金	△ 33,023,072	80,387,874	△ 113,410,946
その他の利益剰余金合計	486,976,928	600,387,874	△ 113,410,946
利 益 剰 余 金 合 計	487,737,147	601,148,093	△ 113,410,946
株 主 資 本 合 計	1,723,393,147	1,836,804,093	△ 113,410,946
純 資 産 合 計	1,723,393,147	1,836,804,093	△ 113,410,946
負 債 純 資 産 合 計	2,769,457,812	2,367,478,835	401,978,977